

まちの話題



天瀬

Amagase



42年間ありがとう、あまがせ保育園

3月22日、あまがせ保育園で閉園式が行われた。昭和53年、天瀬町立あまがせ保育所として66人で開所し、平成17年に日田市立あまがせ保育園になり、園児の減少や園舎の老朽化に伴い、今回閉園となった。閉園式では6人の園児が歌や踊りを披露し、最後は地域で支えてくれた住民や卒園生と一緒に当時を懐かしみながら河川敷で風船を飛ばした。



火事は起こさせぬ！地域を守るぞ！

3月1日、消防団天瀬方面団による、天瀬管内一斉の消防団活動が行われた。春の全国火災予防運動の一環によるもので、天瀬では以前から春と秋の年2回、各分団が防火広報活動や消防水利の点検を行っている。この日はあいにくの雨だったが、悪天候に負けることなく、団員は熱心に巡回や点検を行い、防火啓発に努めていた。



日田

Hita



日田駅前を巨人が進撃！

3月28日、日田駅前周辺に「進撃の巨人」に登場するキャラクターオブジェやパネルなどが設置された。このイベントは日田を訪れたファンを温かく迎えるべく、町全体で日田を盛り上げたいと「進撃の日田まちおこし会議」が実施したもの。会場は、巨人の顔のねぶたや建物から覗き込む巨人が漫画の世界観を醸し出している。展示は6月末までの予定。



手作りマスクをいただきました！

3月16日、新型コロナウイルス対策としてマスク不足を補うため、障害者就労支援施設から1,600枚の布製手作りマスクが納品された。様々な模様のマスクは、学童保育の児童たちや市職員に配られた。障がい者の人は「1からマスクを作るのは大変だったが、柄の部分にこだわって作った。手作りマスクが納品されて嬉しい」と笑顔で語った。

前津江

Maetsue



前津江町の大きな石

昨年5月から今年の2月にかけて、「天空の里あかいしゆかいくらぶ」を中心として、赤石地区の地名の由来になったといわれる巨石「赤石」までの道路整備を行った。前津江町の名所を町内外の人たちに見てもらい、町の活性化に繋がりたいとの思いが込められている。赤石のそばに立つと、どこか勇壮な雰囲気を感じるこの石に全身を委ねたくなる。



思いのこもった標識

3月9日、奥日田デザイン会議のメンバーを中心に、地元住民や登山用のアプリを展開する「ヤママップ」の社員たち約30人が参加し、御前岳頂上までのルートや距離を示した標識を20か所に設置した。参加者は標識や角杭を設置するための道具等を背負って頂上付近まで登り、作業を行った。今後は多くの登山客に御前岳の豊かな自然を満喫してほしい。



集落の維持と活性化を図る

4月1日、市役所で集落支援員新規着任者の委嘱式が行われ、前津江・上津江・大山地区に集落支援員各1人が着任した。市長は「コロナで大変な時期だが、地域の人々の期待に応えて頑張してほしい」とエールを送った。また、大山地区に新規着任した岡部さんは「若者が離れなくてもいいような地域づくりを目指していきたい」と抱負を語った。



桜満開の素敵な春

3月29日、雲一つない青空が広がった日田市では、各地で桜が満開を迎え多くの人たちが写真撮影を行った。大原大しだれ桜をはじめ、三隈高校前や月隈公園などでは、満開の花びらに人々は笑顔で心を和ませた。特に、三隈高校前の桜は大きなアーチを描き、訪れた人々が息をのむほど美しい桜スポットとなっていた。